

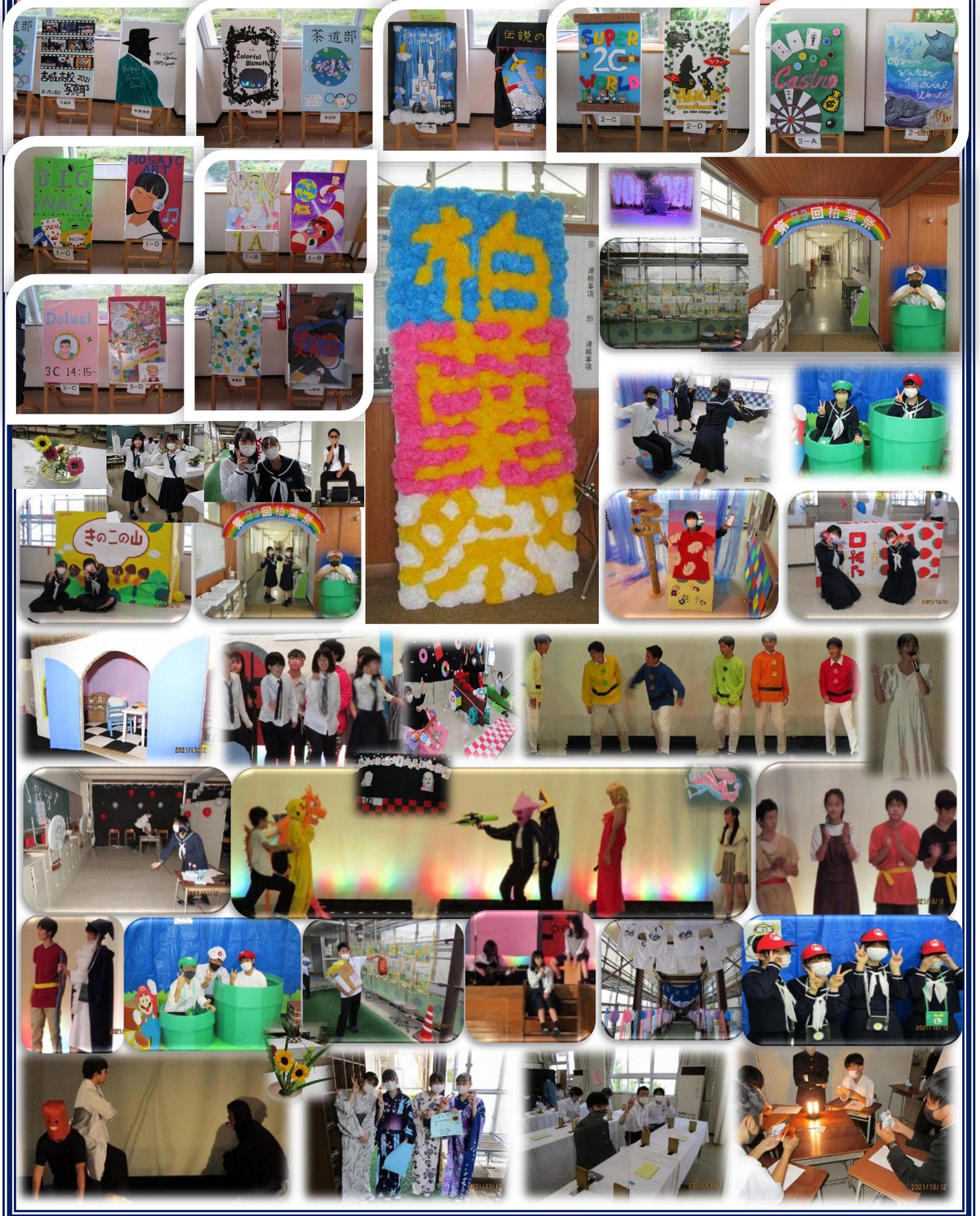


吉高ニュース

令和3年 10月号

新型コロナウイルス感染症蔓延による非常事態宣言が解除され、延期となっていた柏葉祭を10/12(火)に開催しました。内容に制限があったものの、各クラス総力込めて、準備から開催に至りました。

令和3年度 第73回 柏葉祭開催！





地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」
YCK PROJECT REPORT

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第5号

10月17日
2021
発行

学校設定科目「国際理解探究」「第1回台湾新港文教基金会とのオンライン交流会」を実施しました!

学校設定科目「国際理解探究とは、

飛騨市古川町と「まちづくり」をテーマに20年以上にわたって交流してきた「新港文教基金会」に所属する学生ボランティアのみなさんと、お互いの国の自然・文化・歴史・魅力・課題について英語で学び合います。

「第1回台湾新港文教基金会との
オンライン交流会」

- ◆日時: 令和3年8月7日(土)
8:30~12:00
- ◆場所: 飛騨市役所西庁舎
- ◆参加者: 1年(8名)、2年(6名)、3年(1名)



ESD「国際理解探究」選択者の生徒が、台湾の学生とのオンライン交流会を行いました。

例年、吉城高校では生徒を台湾へ派遣し、ホームステイ先のご家庭や地元の学生との交流を通じて異文化理解と国際協調を学んできました。本年はコロナ禍により渡航が困難となり、オンラインでの交流会となりました。



冒頭、台湾の皆さんは日本語で、高校生は「大家好(タージャーハオ)」と台湾語で、お互いに挨拶と自己紹介をし、その後は「観光」「コロナ禍」「差別」などのテーマごとにグループに分かれ、用意していたプレゼン資料をもとに英語で日本や飛騨を紹介しました。

生徒達は、夏休み前から授業や放課後を使って各テーマをパワーポイントにまとめ、英語の文章を作成してスピーキングの練習をしてきました。時間の無い中での準備でしたが、各グループの各生徒が自分の持ち場でしっかりやり切れたのでは

ないかと思います。台湾の皆さんはうなずきながら笑顔で発表を聞いてくださったので、生徒たちは緊張しながらも、会が進むにつれてリラックスできたようです。事前に用意していた質問もありましたが、その他にも、交流の中で生まれた疑問を積極的に投げかけ、活発に交流をする生徒の姿も見受けられましたし、身振り手振り、表情や体全体を使って自己紹介や発表を伝える姿もありました。特に、マスクをしていましたし、まして画面越しではなかなか伝わりにくい場面もあったでしょうが、こうした積極性はきっと台湾の皆さんにも伝わったのではないのでしょうか。



台湾の皆さんもパワーポイントを使った発表をしてくださいましたが、ひと目で内容の理解できる資料作りや、堂々と英語でプレゼンをする姿、こちらからの質問に丁寧に耳を傾け、きちんと答えて下さる姿が素晴らしかったです。生徒達も大いに刺激となったことと思います。

幸い、機材トラブルもほとんど無く、終わりまでスムーズに進行ができ、最後は笑顔の集合写真で終えることができました。次回は11月、交流会の第2回が開催される予定です。今回を糧に、さらにパワーアップした姿を見せられるように頑張りましょう。

最後に、会場の手配や機材の設置、調整にご協力いただいた飛騨市役所の方々、交流していただいた台湾の皆さん、ありがとうございました。次回の交流会は11月13日(土)です。よろしくお願いいたします!



ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555